

Matsuda Hospital

特定医療法人 社団 松愛会 松田病院

看護師募集案内





Nursing

看護の道を志してから、厳しく辛い看護学校も乗り切りました。そして今、夢が現実になる時、私達看護師の第一歩が始まります。私達は看護師の前に一人の人間として、だれでもが持っている能力を発揮できるように、コーチング致します。又看護のスペシャリストとして、共に学んでいく姿勢を援助致します。

Specialistを目指して・・・

松田病院は、消化器外科専門病院として特に胃・大腸がん、肛門疾患、IBD、内視鏡などの看護の中心に行っています。
専門をより特化したスペシャリストをめざします。

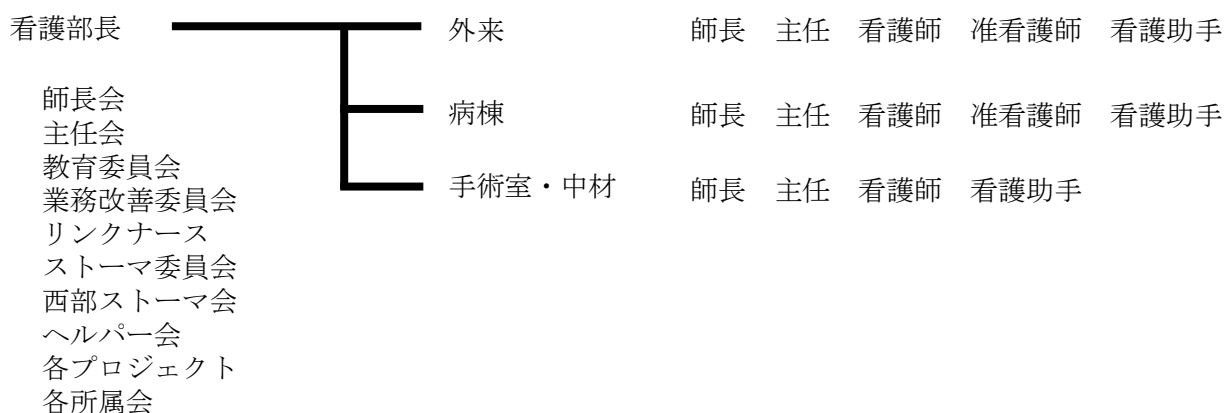
看護部理念

患者さん・家族の方々・共に働く仲間に対し、「和顔愛語」の精神を大切にし、よりよい人間関係を築きます。「信頼の絆」をしっかりと結ぶことができるよう最善を尽くします。そして、確実に安全な医療のために最大の努力をします。

看護部行動方針

1. 私たちは和やかな表情で、親愛の気持ちのこもった言葉で対応します。
2. 私たちは患者さんあるいは家族の方々の思いを受け止め、支え共に歩む関係を築き不安の緩和に努めます。
3. 私たちは言葉のキャッチボールを大切にします。
4. 私たちは常に自己研鑽を行いそれぞれの技術を習得実践し、確実に安全な看護が提供できるように努力します。
5. 私たちはより質の高い看護を行なうために、看護者自身の心身の健康保持増進に努めます。

看護部組織図



看護部教育理念

看護部理念に基づき、個を大切に育て能力を引き出し、常に最善のケアを提供する人材を育成する。

必要な専門知識・技術・態度を修得し、人間性豊かな人材を育成する。

教育目的

『和顔愛語』

- ・和やかな表情と優しい態度で看護を実践する人材を育成します。
- ・看護倫理に基づいた行動がとれるように人間性豊かな感性を育てます。

『信頼の絆』

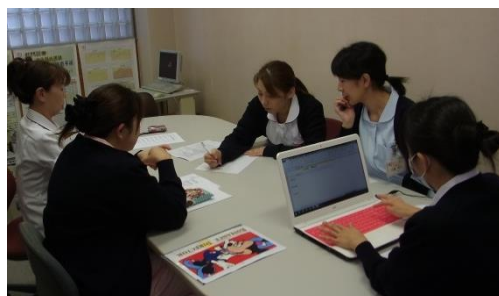
- ・患者や家族の思いを受け止め、支え、共に歩む関係を築くことができる人材を育てます。
- ・医療チームの一員として自覚を持ち、よい人間関係が保てる人材を育てます。

『確実で安全な医療』

- ・早さよりも正確を重視した人材を育成します。
- ・質が高く、安全な看護を行なうための育成環境をつくります。

『キャリアアップ』

- ・得意分野を見つけ伸ばす関わりをします。
- ・看護の楽しさ、看護を語る場をもうけ、学ぶ場を提供します。





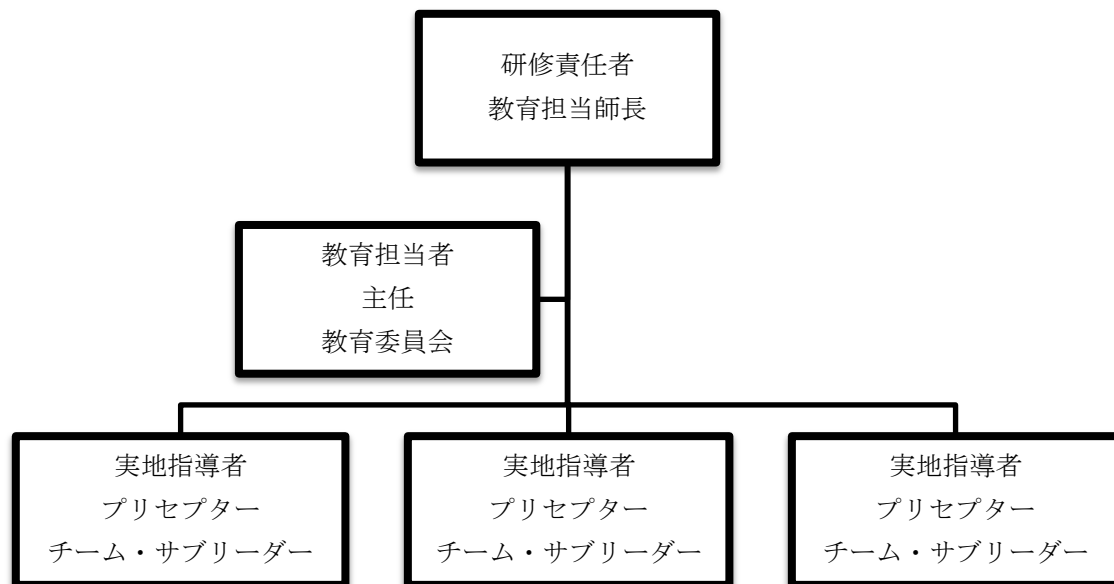
Education(教育)

看護、これほど素晴らしい職種はないのではないのでしょうか。
看護は、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象とし、
対象が本来持つ自然治癒力を発揮しやすい環境を整え、健康の保
持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行ない、生涯を
通して、その人らしく生を全うする事ができるように身体的・精
神的・社会的に支援する事を目的としています。
その概念に基づいて教育プログラムを用意しています。
松田病院の看護師として高度な看護技術と、一人の人間として心
豊かな人になれるようサポート致します。

日本看護協会 教育基準 新人看護職員研修におけるガイドラインの活用について

日本看護協会 新人看護職員研修ガイドラインをベースとして当院における新人に対する人材育成を体系化し、その内容を以下のように記す。

研修体制



上記以外のスタッフも、日々の業務指導担当者、新人目標ファイルのコメント記入、チーム内での新人職員の進捗状況の情報交換などを行ない全職員での教育体制とする。

ガイドラインを参考にして新人年間目標・年間スケジュールを見直し中



教育目標

ラダーレベル1

- ・チームメンバーとして自己の役割が遂行できる
- ・基本看護技術が安全に実施できる
- ・看護計画が立案できる
- ・自己を振り返り、前向きに業務に取り組める
- ・組織の一員として報告・連絡・相談ができる

ラダーレベル2a

- ・チームメンバーとして自己の役割が遂行できる
- ・受け持ち患者の担当者として責任を持って看護実践できる
- ・部署での係活動をして役割を果たせる

ラダーレベル2b

- ・日々のリーダーとしての役割を遂行できる
- ・教育計画に基づいて新人指導ができる
- ・エビデンスに基づいた個別性のある看護計画が立案できる
- ・研修での学びを看護実践に活かすことができる
- ・委員会活動に積極的に参加し、部署での役割を果たせる



ラダーレベル3

- ・所属部署でのリーダーシップがとれる
- ・部署で起こった問題解決に向けて、リーダーシップが発揮できる

ラダーレベル4

- ・院内での看護活動の中で、中心的役割を果たすことができる
- ・看護モデルとしての役割が発揮できる
- ・看護管理能力を身に付け、中堅としての役割を認識して柔軟に行動できる
- ・専門性を高めるため、自己啓発、相互啓発に努めることができる



新人教育プログラム

指導者は

業務終了前に共に1日を振り返り明日の計画を立てる
翌日の担当者に必ず申し送る
食事などの場を有効に使いコミュニケーションを図る
1つ1つ評価をしてステップアップする事
業務に余裕がある場合は、看護技術の習得に努める
他病棟で変わった処置がある場合は見学に行く

新人は

常に学ぶ姿勢を保つ
自分の意見(思い)を言葉にして伝える
大変になったら遠慮しないで、所属長他先輩看護師に伝える
受身にならず、積極的に行動する
OK評価が出るまでは、1人では決して行わない
(医療事故に結びつく)

新人サポートシステム

プリセプター制度(入職～1年間)
新人会(4回/年)
プリセプターNs中心にチーム内支援
新人のみの昼食会



院内医療機器取り扱い認定制度

昨年度より「専門病院職員として自己の役割を認識し、教育システムを活用する」という看護部目標より医療機器の取り扱いに対して院内認定制度を設けました。
多くのスタッフが院内で使用されている医療機器を熟知し、安全で正確に使用できる事が目的です。

【基礎編】

各分野の講義を受ける
実技講習
全内容を受講後に『基礎』では復習テスト
テストまで受講したスタッフには修了書を発行

対象となる医療機器

- ① シリンジポンプ 輸液ポンプ
- ② 心電図モニター
- ③ L-CAP
- ④ ベンチレーター
- ⑤ カウンターショック

【応用編】

基礎編を終了していることが前提とする
『応用(上級)』受講者は院内において指導者認定試験の受験資格あり
指導者認定試験合格者は院内にてスタッフへの指導資格取得となる
合格者へは認定書とネームにシール等貼り付け分かるようにする



院内指導資格認定者の資格内容

認定を受けた医療機器の取り扱いについてスタッフへ指導ができる
指導内容として、日常業務内で問題発生時、相談指導ができる
2年目以降、院内認定のための講師となり指導する

ようこそ松田病院へ！



ここでは病院の行事、看護師の年間行事と共に皆さんの1年間について大まかな予定をご紹介します。

4月・5月

まずは緊張をほぐしましょう。
プリセプターNsとよく話し、目標を決めます。
春は行事も目白押し。たくさん参加して職場に慣れていきましょう。

- ・オリエンテーション
- ・春の勉強会
- ・患者ゼミ（年間通してあります。
春に1回は参加しておきましょう。）
- ・部長面接
- ・新人会① + 昼食会
☆看護部新人歓迎会



6月・7月

そろそろ夜勤の準備をしましょう。
7月から5回先輩と夜勤が組まれます。
生活の変化で体調を崩しやすくなるので
気をつけましょう。

- ・新人会② + 昼食会
☆ビアパーティー



8月

業務の流れも理解し、忙しい頃です。
厚い時期、夏ばてにめげず乗り切りま
しょう。

- ・主任面接

10月

半年が過ぎ、心のゆとりが生まれる頃です。
目標はどこまで達成できたでしょうか？
ここで一度振り返り、後期に向けての目標を
立てましょう。

- ・師長面接
- ・新人会③ + 昼食会



12月

自己申請書記入の時期です。
看護部長宛の手紙が配布されるので、
現状を書きましょう。
後日それを元に部長面接があります。

- ・チームリーダー面接
☆忘年会



3月

プリセプター、教育委員、主任と共に
1年間のまとめをしましょう。

- ・新人会④

1年間でひと回り大きく成長しました。

※ここに書かれている内容はごく一部です。詳細は教育予定表その他で随時ご案内していきます。

新人看護職員年間計画

時期	I 期：生まれたて時期	II 期：基礎教育と臨床実践の融合・応用の時期	III 期：わかばマーク時期
到達目標	①病状の特徴を知る ②職場に慣れる ③院内の構造を知る	⑥重症者を指導の下受け持つことが出来る ⑦ベアで夜勤ができる	⑨サポートを受けながら ⑩独り立ちできる
月	4月	5月	6月
基本姿勢と態度	①看護職員としての自覚 ②患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立 ③組織における役割と心構えの理解と適切な行動 ④生涯にわたる主体的な自己学習の継続	④業務内容を理解し指導を受けながら実践できる ⑤多重課題に対し指導を受けながら優先順位をつけられる	⑧入院から退院までのプライマリ活動が指導を受けながらできる
技術的側面	①環境整備 ②食事援助技術 ③排泄援助技術 ④活動・休息援助技術 ⑤清潔・衣生活援助技術 ⑥呼吸・循環を整える技術 ⑦創傷管理技術 ⑧与薬の技術 ⑨救命救急処置技術 ⑩症状・生体機能管理技術 ⑪苦痛緩和・安楽確保の技術 ⑫感染予防の技術 ⑬安全確保の技術 ⑭死亡時のケアに関する技術	⑥重症者の清潔支援 ⑦重症者の移送介助 ⑧重症者の体位変換方法 ⑨清潔・不潔管理 ⑩救命救急処置 ⑪輸液ポンプ ⑫シリンジポンプ	⑩入院から退院までのプライマリ活動が指導を受けながらできる ⑪チーム医療の一員の自覚が持てる ⑫受容的共感的態度の理解 ⑬患者中心の看護を基に患者・家族と接する
管理的側面	①院内の避難ルートがわかる ②情報収集方法がわかる ③プライバシーを保護 ④医療情報・記録物の取り扱い ⑤業務手順に沿って実践できる	⑩インジデントや事故の報告 ⑪多重課題に対し優先度を考え行動 ⑫業務手順に沿って実践できる	⑬適切な情報提供 ⑭抗がん剤取り扱い ⑮血液製剤の取り扱い ⑯麻薬の取り扱い ⑰コスト意識
院内計画	新人オリエンテーション 看護技術研修 春の勉強会 患者ゼミナール聴講 新人歓迎会	BLS メンバーシップ研修 プライマリ方式の理解 看護とは・・・参加により看護倫理に触れる	1年の振り返り 次年度の目標

平成26年度 院内勉強会・研修実績

日付	研修名	主催者	対象
4月1日	入職式		
4月1・2・3日	入職者オリエンテーション		新入職員
4月8・15日	呼吸器について（基礎）	教育委員会	看護師
4月24日	防災訓練	防災委員会	全職員
5月1日	胃・大腸・肛門の解剖生理	教育委員会	看護師（新人を中心に）
5月2・7日	看護必要度	看護必要度PJ	看護師
5月8日	新人昼食会 新人会 プリセプター会	教育委員会	新人看護師及びプリセプター看護師
6月3日	新人歓迎会	主任会	看護師
6月12日	肛門疾患と看護	教育委員会	看護師（新人を中心に）
6月16日	骨盤底金体操・バイオフィードバック	外来	看護師
6月18日	ロンサーフ（抗癌剤）	化学療法室	看護師
6月19日	大腸疾患と看護	教育委員会	看護師（新人を中心に）
6月24日	事例検討会（呼吸困難患者）	オンコロカンファ	看護師+コメディカル
6月25日	CVポート	外来	看護師
6月27日	ポリナビワークショップ	連盟地区支部長	看護師
6月30日	防災について（講義による）	防災委員会	全職員
7月2日	診療報酬について	看護部長	全職員
7月8日	内視鏡と看護	教育委員会	看護師（新人を中心に）
7月10日→7月23日へ変更	クレキサソ（薬剤）	教育担当者	看護師
7月14日	仙骨刺激療法	放射線科	全職員
7月15・22・29日8月5日	白血球除去療法について	教育委員会	看護師
7月28日・8月1日	仙骨刺激療法（看護部）	放射線科	看護師全員
8月18日	IBD疾患と看護	教育委員会	看護師（新人を中心に）
8月20日	レントゲン	教育委員会	看護師（新人を中心に）
8月21日	HBについて		全職員
9月18日	排便障害と看護	教育委員会	看護師（新人を中心に）
10月2日	KYT	管理部	全職員
10月9日	静脈血栓症予防について	管理部	全職員
10月21日	ヘルニア	教育委員会	看護師（新人を中心に）
10月30日	防災訓練	防災委員会	全職員
11月7・8日	看護とは	師長会・主任会・教育	看護師全員
11月11日	装具選択	ストーマ委員会	看護師全員
11月13日	感染対策	感染対策委員会	全職員
11月25日	新たな難病医療費助成金制度の概要	医事課	全職員
12月1日	より深い肛門疾患	教育委員会	看護師全員
12月2日	医療と法的責任	医療安全委員会	全職員
12月12日	看護連盟とは	看護連盟	看護師全員
12月16日	褥瘡とは	褥瘡委員会	看護師全員
1月8日	ビック・ポート管理について	管理部	看護師全員
1月13日	ストーマ マーキングサイトについて	ストーマ委員会	看護師全員
1月22日	記録について	記録委員会	看護師全員
2月3日	人工呼吸器（基礎編）	教育委員会	看護師全員
2月12日	感染対策（2回目）	感染対策委員会	全職員



先輩からのメッセージ

～ やりがいを持ち、安全・安心な看護を提供できるように ～

私が看護師という仕事を選んだのは、人と関わる仕事でやりがいがあると思ったからです。新人看護師として入社し2年目を迎えますが、病棟で学ぶことは多く、まだまだ看護師としての知識や技術が未熟であることを実感する毎日です。入社当初は不安でいっぱい、実際に仕事が始まると、急性期の重さと展開の速さ、また多様な業務を覚えることに苦労しましたが、病棟の先輩方が私のペースに合わせて、丁寧に指導してくださるので安心しました。

勤務時間についても、十分に配慮して頂いて、家庭がある私においても無理なく仕事が続けられています。今は安心して働いています。患者様に安全。安心な看護を提供できるように頑張りたいです。

これからも微力ではありますが、少しでも役にたてるように、私にとってのやりがいを持ち、頑張っていきたいと思っています。

～ 親しみやすさと基本に沿った丁寧な看護ケア ～

日々の看護ケアを基本に沿って丁寧に行っていることが、松田病院看護部の魅力のひとつです。患者さまひとりひとりの状態や希望に応じて、清潔ケアなど日々の看護を、コミュニケーションを大事に行っており、もう一歩深い看護をしようとチームで目標を持って取り組んでいます。

私は松田病院に既卒で入って現在病棟勤務ですが、先輩方が常に親身になって指導してくれています。その人の個性・ペースに合わせた教育がされており、先輩方が私の理解度を確認しながら、根気よく指導してくださるので、安心して働くことができます。また、先輩Nsそれぞれに得意としている分野があり、個々の魅力を発揮して働いている環境で私も日々勉強させてもらっています。

少し規模の小さい病院ではありますが、その分患者さまとの関わりを身近に感じることができ、人と人とのつながり、親しみやすさを感じることができます。

当院は患者さまとの日々の関わり・看護ケアを大事にしています。家庭的で優しい雰囲気の流れる環境でぜひ一緒に働き、共に成長していきましょう。

～ 親しみやすさと熱心な指導 ～

既卒として松田病院に就職し、今まで経験したことのない消化器外科という分野への不安や、業務や看護方式の違いに最初はとても戸惑いました。

初めて学ぶことも多く、新たな看護技術や知識を修得し気付いたら入社して4ヶ月が経過していました。覚えることがとても多く、あっという間の4ヶ月でしたが、プリセプターの方がいつも自分の事を気にかけてくれて、技術面だけでなく精神的なフォローをしてくださり、同じチームのメンバーの方にも忙しい中で「大丈夫？」などの言葉をたくさんかけていただきました。師長を始め主任さんにもとても気さくで不安や疑問に思った事をすぐ聞ける雰囲気作りをしてくださいました。そのような環境の中で少しずつ業務を覚え、不安を解消していきながら自分のペースで仕事をさせていただいています。

今後も少しでも疑問に思った事はそのままにせずに、自分で考えたり、周りの人の意見を聞きながら学習への意欲を持ち、自分自身が出来る看護を見つけていきたいと思っています。

信頼され安心できる高度医療を実現するために

たゆまぬ技術の研鑽と最新技術の導入

松田病院では、消化器専門病院として肛門疾患をはじめ大腸、胃、胆石やヘルニアなどに高度な医療技術を駆使して、かつ最新の医療器械を導入して取り組んでまいりました。その確かな技術の集積と設備の充実が評価され、専門医を目指す医師の修練施設として日本大腸肛門病学会の認定を受けています。



内視鏡検査センター

ファイバースコープを用いて胃や大腸の中を観察する検査を専門的に行っています。ポリープや炎症性病変、がん等を肉眼的に観察する事ができ、病気の早期発見・治療に有効です。当院では、これからの検査だけでなく、内視鏡的治療の新技术開発にも挑戦しています。

大腸CT検査 (CT-C)

マルチスライスCTを導入しています。近年は地域に先駆け、大腸CT (CT Colonography) を積極的に行っており、症例数は静岡県内で1位を誇っています。臨床研究などにも積極的に参加し、消化管検査において地域に貢献できるよう努めています。



ストーマ指導室と患者会



手術でストーマ（人工肛門・膀胱）を造設した患者様には、長期にわたって医師や看護師を指導を行います。その専門ケアを行うのがストーマ指導室です。ここでは主に、皮膚排泄認定看護師が中心になって指導を行っています。その他、患者様同士で相互に情報交換したり、助け合う目的でオストメイト患者会として『松田会』、クローン病患者様の『MC友の会』、潰瘍性大腸炎の患者様の『UC友の会』等が組織され、精神面を含めて患者様の自立を促し、支援する体制を整えています。

チーム医療

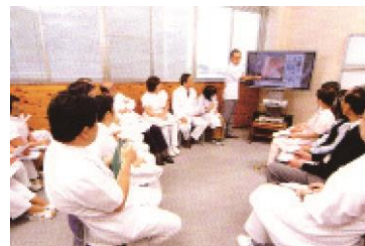
患者様の診察にあたり、私たちは患者様に『真心』をこめて接します。そして病院のスタッフ全員が一丸となってチーム医療を実践しています。患者様には、十分な説明によってご理解いただくことを主眼として、全てのスタッフがこれを徹底することで確かな信頼関係を築いていきます。



明日の医療サービスを求めて

カンファレンス

症例検討会は、医師・看護師をはじめ多くの医療スタッフが参加して患者様の病気に関するカンファレンス（検討会）を実施します。



看護部勉強会

教育システムにそって開催される看護師勉強会は、活発な意見交換の場。より質の高い看護を目指し、熱のこもった学習と討議が繰り広げられます。

患者ゼミナール

ご来院の皆様へ

患者ゼミナールのお知らせ

当院では、患者さん向けに大腸と肛門病の勉強会を毎週開催しております。講師は当院医師が選替わりで担当し、各自が作成したスライドでわかりやすく解説いたします。

ゼミナールは一般公開していますので、お気軽にご参加ください。

日時：毎週火曜日 PM6:15～7:15

場所：会議室（2号館3階）

開催日	担当医師	開催日	担当医師
9月3日	村上	10月1日	村上
9月10日	松岡	10月8日	松岡
9月17日	野本	10月15日	野本
9月24日	野本	10月22日	野本
9月31日	野本	10月29日	野本

消化器病・大腸肛門病外来

毎週火曜日には、外来・入院患者様を対象に、肛門および大腸疾患のゼミナールを開催。ビデオ・パワーポイントを使いながら痔の手術や大腸癌に関するお話をしています。

在宅支援

最近、自宅療養のニーズが高まっています。私たちは、こうした個々のケースにも柔軟に対応し、退院支援室と連携をとり看護サービス体制を整えています。

緩和ケアカンファレンス

医師・看護師・薬剤師等異職種が集まり、新しい技術を取り入れると同時に、チームとして期を逸さない適切な緩和治療を提供するため、2004年4月から情報交換勉強会を開催。



オンコロジーカンファレンス

2005年から行われていた化学療法カンファレンスにかわり、2009年から医師・看護師・薬剤師等異職種が集まり、患者様の治療状況を情報交換するとともに、最適な治療方針や新医療浸透のための勉強会を開催。

NSTカンファレンス

医師・看護師・薬剤師・管理栄養士等が集まり、栄養療法を確実に浸透させ、医療向上のため意見交換を行う。

雇用条件・福利厚生

●待遇

初任給 290,718円（夜間勤務手当等を含む）
賞与 年2～3回
昇給 年1回
休暇 4週8休・有給休暇・リフレッシュ休暇・年末年始・子の看護休暇
各種制度 社会保険完備・退職金・奨学金（40,000円/月）

補助制度

認定看護師、各種研修、学会

諸手当

通勤手当・・・交通用具使用の場合、1km（片道）につき月額1,000円支給
公共交通機関利用の場合、1ヶ月の定期券購入額相当を支給
住宅手当・・・月額30,000円まで支給

その他の休暇

育児休暇・・・育児に専念するために休業できる制度で、原則子が1歳になるまで男女を問わず取得することができます。
介護休暇・・・要介護状態にある家族を介護する職員は、のべ93日間までの範囲内で介護休暇を取得することができます。
子の看護休暇・・・小学校就学前の子を養育する職員は、負傷・疾病等のために年5日間を限度として取得することができます。（有給です。）

●配属先

病棟（3交替）・手術室・外来（内視鏡・化学療法室含む）

●病院概要

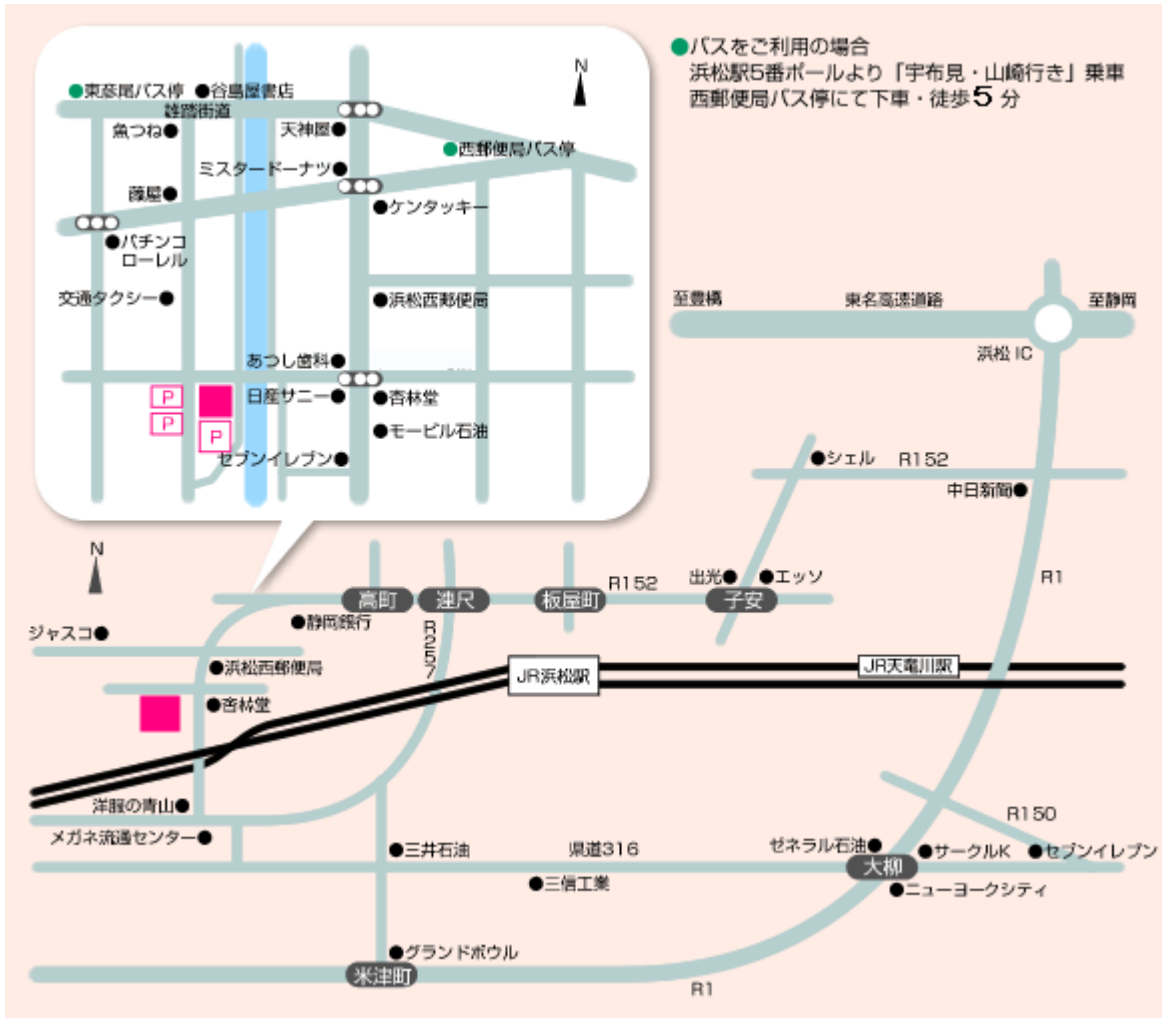
病棟 60床 入院基本料7:1 職員数 216名（内、看護師105名）
DPC算定病院、電子カルテ導入
日本大腸肛門病学会認定専門医修練施設
病院機能評価認定施設
静岡県西部地区ストーマリハビリテーションセンター事務局

●応募方法

履歴書（写真添付） 卒業見込み証明書・成績証明書 を郵送または持参して下さい。

●応募期間

試験日 随時
試験科目 一般・専門（各20分）、面接
応募期間 随時



Matsuda Hospital

胃腸・肛門外科

特定医療法人社団松愛会

松田病院



〒432-8061

静岡県浜松市西区入野町753番地

TEL 053-448-5121(代)

ホームページ <http://www.matsuda-hp.or.jp>

E-mail cra@matsuda-hp.or.jp

交通のご案内

- JR線 浜松駅下車 タクシーで10分
高塚駅下車 タクシーで5分
- バス 浜松駅5番ポール(宇布見・山崎行)乗車、
西郵便局で下車徒歩5分
雄踏町方面からは浜松駅行き乗車、
西郵便局で下車徒歩5分